

## 新入生を歓迎する

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

この春、静岡県立大学には学部には648名、短期大学部に121名、大学院に115名が入学しました。本学に諸君をお迎えすることをたいへん嬉しく思っています。新入生の皆さんはそれぞれに夢や希望を持って入学されたことと思います。すでに明確な目的を持っている人もいるでしょう。あるいは、これからの勉学を通して将来についてじっくり考えようとしている人もいることでしょう。初心を忘れずに、それぞれの希望や目的を達成してください。

あいにく、「新型コロナウイルス感染症」の拡大を防ぐために、本学では入学式を中止せざるをえませんでした。教職員、在校生一同で、期待に胸を弾ませて入学された皆さんをお迎えすることができないことは大変残念です。出鼻をくじかれた思いの諸君もいるかと思えます。県民の健康、安全、福祉を支える人材を育成することを使命としている本学が、世界を揺るがすパンデミックの襲来に対しては、慎重がうえにも慎重を期す必要があることをどうかご理解ください。

世界的な流行、パンデミックと化した新型コロナウイルス感染症は、入学式を吹き飛ばしただけではありません。留学を途中で切り上げなくてはならなくなった学生がいます。外国の学生で本学への留学を諦めた学生もいます。サークル活動、合宿、演奏会、スポーツの競技会も中止になりました。授業開始も遅らざるをえませんでした。皆さんの学生生活のスタートが台無しになってしまっています。

大学に学ぶ皆さんには、このたびの災厄を人類に与えられた壮大な問題解決型学習（PBL）として捉えて、そこからいろいろなことを学んでいただきたい。感染症の拡大や部品調達の停止からはグローバル化した現代世界の現実について、感染爆発からは治療薬やワクチンなどの開発について、医療崩壊からは医療・看護体制について、自国中心の政策対応からは国際協調のあり方について、外出・社会活動の制限要請からは自律、自由と統制の問題について、マスク、トイレットペーパー、食料品の買いだめ騒動からはパニック心理や利己的な消費行動について、工場・店舗の閉鎖による失業や収入減については社会保障や経営支援について。数え上げればきりがなくらい、研究すべき課題が見つかります。それぞれの立場から、感染症の流行が暴き出した課題について考えていただきたい。

パンデミックという非常事態に遭遇して、大学教育も大きく変わっていかざるをえません。全部の授業科目までは対応できませんが、少しずつインターネット

トを通じた遠隔授業を取り入れていきます。Webによる学生サービス支援システムである「ユニバーサル・パスポート」を用いて課題図書や演習問題に取り組む授業も増えることと思います。もちろんこれまでの座学中心の対面授業や実験、実習も引き続きおこなわれますが、授業のIT化は、予定以上の速さで進むものと思われます。予定された形でのガイダンスは行われませんが、ホームページや履修要項に目を通して、授業開始に十分に備えてください。

皆さんは令和へと元号が変わって初めて迎える入学生です。私は、令和という時代は、これまでの産業社会からつぎの文明社会へ動き出すのを、肌身を感じる時代になるだろうと予想しています。文明の過渡期の時代です。来るべき新時代を、Society 5.0と呼ぶことがあります。狩猟採取時代から数えて、5番目の文明社会と言う意味です。高度な情報通信技術によって支えられる時代になるものと予測されています。皮肉にも、新型コロナウイルス感染症の蔓延が、Society 5.0への移行を否応なく推し進めていると言えなくもありません。その過程において、生産技術の革新はもちろんのこと、家族や働き方などのさまざまな社会制度や慣習が大きく変化するでしょう。大きな混乱も予想されます。その中で、皆さんは時代の潮流に吞まれて右往左往することなく、知恵を絞り、他の人々と協力して、主体的な新しい時代の建設者になってください。

静岡県立大学は、昨年11月に「SDGs宣言」を掲げ、この4月1日から「静岡県立大学SDGsイニシアティブ」を立ち上げました。SDGsとは「持続可能な開発目標」のことで、2015年に国連サミットで採択されました。世界のすべての国が、平和で、公正で、誰一人取り残すことなく、豊かさを追求しながら、住みやすい地球環境を未来に残すことを目指しています。本学でも、教育、研究、地域貢献、大学運営とあらゆる側面でSDGsに取り組み、その理念に即して、地域をつくり、世界とむすび、未来へつなぐことを大学の使命としました。皆さんにも積極的にこの運動に参加していただきたいと願っています。

「学生は未来からの留学生」と言われます。皆さんは未来を創る主人公です。わたしたち教職員一同は、惜しみなく、皆さんを支援することを誓います。困難な状態からのスタートになりましたが、学生生活を満喫するとともに、勉学に励み、大きく将来へはばたく力を身につけてくださることを願っています。

静岡県立大学  
静岡県立大学短期大学部  
学長 鬼頭 宏

令和2年度 式辞